

国土交通省砂防部との意見交換会

－ 砂防行政における情報を交換 －

長野県治水砂防協会姫川支部は、2月12日に国土交通省砂防部と意見交換会を行いました。姫川支部からは白馬村の太田村長、下川議長、小谷村の松本村長、宮澤議長 以下6名が出席し、国土交通省砂防部の大野砂防部長に管内の砂防事業の実情について説明しました。



← 砂防部長室での様子

砂防部からは、「復興・防災対策」、「成長による富の創出」、「暮らしの安心・地域活性化」の3分野に重点化するとの方針に基づき、水害・土砂災害等に対する事前防災・減災対策をハード・ソフトの両面から強力に推進するための予算編成や昨年の九州豪雨災害の被害、事業の状況など砂防行政の近況を聞きました。多くの質疑や意見が出され、大変有意義なものとなりました。

東日本大震災の災害復旧応援

東日本大震災の災害復旧では、今年も引き続き長野県職員が岩手県に応援に行っており、姫川砂防事務所からは塚田技師が、岩手県宮古市に赴任し、頑張っており、次のとおり状況報告がありました。

『ここは海側であるため、津波によって元の姿が想像できないほど甚大な被害を受けたところで、一部を除いて瓦礫処分もかなり進みましたが、復旧はまだまだこれからという状況です。住民が元の生活を取り戻すには課題が山積みですが、公共土木施設の復旧の応援を通して、長野県も東北の復興のお手伝いをしてまいります。』

応援に行った初日に宿舍の水道が凍っている状況で、東北の冬は、長野県以上に厳しい寒さです。』



宮古市



もとは住宅地で瓦礫は片付きましたが、手前の国道はまだ復旧していません。

シリーズ70周年

～ 姫川砂防事務所管内の特徴と砂防事業 ～

(第8回) ○「砂防」とは(その4)○

今回は雪崩防止事業です

当地は豪雪地でもあることから雪崩が発生する恐れのある箇所がいくつかあります。雪崩の防止は山腹に効果的にフェンスやネットを設置し大量に積もった雪が人家等にすべり落ちないようにするものです。



<雪崩予防柵>

3月の行事予定

白馬村 スキー場イベント

- 9日(土)
- * みねかた火祭り (みねかた)
- 12日(火)～17日(日)
- * 全日本スキー技術選手権 (八方)
- 17日(日)
- * 4時間耐久レース (五竜)

小谷村 スキー場イベント

- 4日(月)～10日(日)
- * 白馬乗鞍テレウィーク
- 9日(土)～4月21日(日)
- * バックカントリーツアー (柵池)
- 24日(日)～4月7日(日)
- * 春スキーキャンペーン (コルチナ)